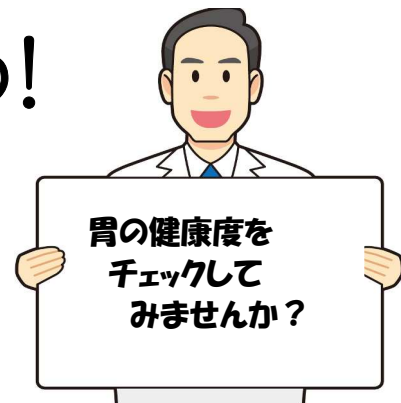


胃がんリスクを確かめよう!



ABC検診

ABC検診とは

ピロリ菌感染の有無（ピロリ菌検査）と胃粘膜の萎縮の有無（ペプシノゲン検査）の2つの血液検査を組み合わせる「胃がん発生リスク」（危険度）をA B C Dの4つに分類する検査です。「胃がんを見つける検査」ではなく、胃がんのリスクを見る検査です。

料金：4,510円（税込）

分類		ピロリ菌検査	
		陰性(-)	陽性(+)
ペプシノゲン検査	陰性(-)	A群	B群
	陽性(+)	D群	C群



【各群の内容】

A群	健康的な胃粘膜で、胃疾患の危険性は低いと考えられます。
B群	少し弱った胃粘膜で、消化性潰瘍などに留意する必要があります。
C群	弱った胃粘膜で、胃がんになりやすいタイプです。
D群	萎縮が非常に進んだ胃粘膜で、胃がんなどの病気になるリスクがあります。

ピロリ菌検査

ピロリ菌に感染すると、抵抗力として抗体を作ります。血液中に存在するこの抗体の有無を調べる検査です。正式名称はヘリコバクターピロリと呼ばれます。ピロリ菌は、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、胃炎、胃がんなどの発病の原因となります。

ペプシノゲン検査

胃がんの多くは、萎縮した胃粘膜から発生します。「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで胃粘膜の老化（萎縮）の状態を評価する検査です。

★以下に該当する方は結果が正しく出ない場合があります。

- 胃切除の方
- ピロリ菌の除菌治療をされた方
除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、ゼロになるわけではありません。除菌後も内視鏡検査による経過観察が必要です。

★以下に該当する方は主治医にご相談下さい。

- 食欲がない、胃が痛い、胸やけ等の明らかな上部消化器症状のある方や胃や十二指腸の病気を治療中の方
- プロトンポンプ阻害剤（胃酸を抑える薬）を服用中の方

《お申込み・お問い合わせ》

（一財）九州健康総合センター 営業・計画チーム
〒805-0062 北九州市八幡東区平野1丁目11-1
TEL：093-672-6210 FAX：093-681-3495